

24/1/29 河村たかし名古屋市長定例記者会見（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし

記者：ちょっと話変わるんですけど、今日同時並行でバリアフリーの検証委員会やっています

河村市長：はい

記者：見通しでは、今日中間報告出る可能性が高くてですね、
まとまるかどうかはちょっと今審議中でいずれしても、年度内で元々中間報告まとめる方向
でしたのでそうなりますとですね、今後名古屋市の木造復元の計画についてはどう進められ
るのか。

河村市長：まあ本当に本当にヒアリングは一度受けましたと、言っていたでもいいけど
中身はあんまり言ってくれるということになっておりますんですが、
今日あるいうことは知りませんでしたけどね。
まあ私はあれはあれ以来申し訳ないことでよ。言ってまして、
まあしかしまあね、僕はあの今回の検証委員会はあの検証委員会のたてつけから言ってこな
いだの市民討論会のことだけであって、名古屋城の天守を木造化をとエレベーターの関係を
どうするかいうことは、あの話はないと思いますけどねそれは。ええ。
だがまあはよ作りたいわな、本当にみんな僕の周りだかわからんけど、

記者：いわゆる凍結してる計画策定について、中間報告ですけども、この内容次第で、凍結
の部分っていうのはある程度策定がまた進んでいくという可能性、理解でよろしいでしょ
うか

河村市長：私はそう思っておりますけど、内容はわかりませんので、どうなってるか、本当
に知らんですよなんらわかりませんが、状況によりますけど、やっぱり本物のお城をや
っぱり再建さしてほしいと。

バリアフリーはバリアフリーで日本一のバリアフリー都市を作ればいいじゃない。

常にそう言ってもええぐらいだと思いますけど。ええ。

私こないだ車椅子の方が3名ほど見えただけど、そのときにまあマスコミはなしでええじゃ
ないかいう話があったんでなしにしましたけど、ほんときは、車いすの3名の方に、名古
屋はわしはいままでここで車椅子を作っていくとか、この階段を不便だけど辛抱してく
れとか言ったことあるかねってこれ、これ0じゃないの言ったら、「そういえば0です」相
手、でしょう。バリアフリーをしっかりとするというのは、大いにやろうと思いたすがねその
ときに、お城はやっぱりこれ、国宝1号であって、図面もあって、これせっかく記者会見
で言ってきますけども、はようなんて書類出さないだけで、昭和16年ごろだと思われるけ

ど、昭和実測図という図面を作った人、名古屋工業大学と文化庁それから名古屋市役所で作ったんですけどその名古屋市役所の作ったメンバーが書いた文章が出てきて、それによりますと、太平洋戦争で、崩れてしまうと焼けると書いてなかったと思うけど、喪失してしまうから名古屋城天守は、だからこうやって図面を残していくから、また復元さしてくださいと元のままに、そうすると市民も安心するでしょうと書いた文章が出てきたでしょこれ。本当に。まあしかしわしはそう思いますけどね。

その3人の方がお見えになったときに、なんでそういう気持ちを聞いてくれんのですかと。申し上げましたけど、私、バリアフリーは、日本一かどうか知りませんが、いままでそれはいかんって言ったことはないですよわしゼロです。

お城の天守が国宝1号んで図面もう完全に残ってて図面作った人がそこまで言っていると、もう1回こうやって作っていけば復元できるから、市民の皆さんが安心するでしょうと書いてありますよ。ええ。なんでやらしてくれんのって。これというお城の方いやそういう心理ですけど、今日のまた報告書は別途それを見さしていただいて、そこであの丁寧に考えていきたい。思っております。

記者：ありがとうございます。

記者：フリーの関口です。久々ですけどですけどよろしくお願いします。

ちょっと名古屋城の話戻って恐縮なんですけど1点だけ。

毎年この時期に、1月、12月ぐらいに行われていた市民説明会、名古屋城木造復元の市民説明会が今まで5回とか6回とかあったものが、去年1回になってしまったってことで僕も質問させてもらいましたが、今年度は今のところ予定されてないと思うんですね。

0回になってると思うんですけども、その説明を市長の口から説明を聞きたいと思えます。

河村市長：まあとりあえずまあ前回の市民討論会という名をうったったんかなあれ。

あれの、いや、あんたのいわせるのは市民説明会だけど、こないだ問題になった討論会ですよ。

市民討論会のあの問題が、とりあえず解決というか、一応の報告はにやあうちはやりにくいわねそりゃあ。なんか

それは私もやむを得ないかと思いますが、こんな本当に今日出るんだったら、それを受けていっぺんやってもいいですよ。また。

だけど、無作為抽出という方法は、本当に本当は一番いいと思うんですよ。

無作為抽出。大体いつも国会議員で長いこと国会議員民主党でやってきたけど、国交省なんかいろんなものを作るときにやるんです、八百長で実際表にでたところあるがね。

だから、今まで残念だけど、ものすごい回数やったでしょ名古屋城に関しては、説明会。

ぼくもようけ出てってますよこれ。

こうなると、皆さん自由に喋ってもらうのは当然やけどどうしてもある程度決まった人ということになりがちなんですよ、これ。

なもんで、だけど、やるのはやらないかんと思います。

とにかく今回のことについての報告に対して名古屋市がどうしよう、だからどうするとか、どうだということについては、この会見でもいうことになると思いますけども、やっぱり市民説明会なんらかやるべきだと思うんですね。

記者：差別発言の問題も含めて、市民説明会として年度内に市長としてはやりたいと。

河村市長：それやらないかんでしょう。と思いますここまで丁寧にやっていたんだから。市民説明会（討論会の間違い）については、私は私で、確かに不注意だったかわからんけど、うん、僕は僕なりに、やっぱり本当の無作為抽出して、一般から来た人が自由に意見を言うというのについてはね、いかんことがありますよ確かに。言いすぎてあるんだけど、それはそれで私は言いたいこともありますから、これは、だからそういうことをし、喋らさしていただいて、

記者：わかりました

河村市長：何か意見を止めなかったとヒアリングあんまりで言っちゃいかんといわれてましたけど、あれは名古屋市の職員が1人でできてですね、止め止まったじゃないですか。止めたというのが止まったと。まあええわ。